

【一】次の文章をよく読んで後の問いに答えなさい。

「日本人は親切だ」「日本人は礼儀正しい」「日本人は真面目だ」「日本人は協調性がある」というお決まりの褒め言葉があります。

確かにそのとおりでしょう。でも、日本人として日本に長く暮らしていると、手放しで喜んでよいものなのかどうかイチマツの不安もよぎります。これは一面的な見方であって、本当に美しい心からそういう振る舞いがなされているのだろうか。そんなきれいで説明できるような国民性であつたら、あつという間に悪意を持った他者／他国の餌食にされてしまうのでは？

コーネル大学のベス・A・リビングストン、ノートルダム大学のティモシー・A・ジャッジ、ウェスタンオンタリオ大学のチャールス・ハーストが行った研究によれば、協調性の高さと収入のレベルは反比例するといえます。ゴカイを恐れずに言えば、いい人は搾取されてしまうということです。^(b)

冷静に考えれば、親切で礼儀正しいのは、相手に対して無礼に振る舞ったことが広まって誹謗されることによる不利益を被るリスクを抑えるためであつたり、真面目なのは誰かから後ろ指をさされて村八分にならないための自衛行為であつたりもします。協調性があるというのも、そうしなければ本当に困ったときに誰も助けてくれないかもしれないからという理由がかくれていたりもします。^(c)

表向き、整った姿が見えているだけで、その裏には見なかったことにしなければならぬ闇の部分^(d)が口を開けている……。日本人は自身の力で独立性を保っていられるのだとも言えます。きれいに整った穏やかな笑顔の下に、適切な量だけ毒々しさを隠し持っている日本の共同体の姿を、多くの人は、私などよりずっと、**I** 的に知っているはずだと思います。

そんな日本社会の中で、生きづらさや息苦しさを感じたり、なぜ**II** 的な仕組みを築くことができないのかと憤慨したりする人も多いでしょうが、根本的には日本人のこうした逆説的な良い意味での「悪い」性格が原因となつているとも言えます。

残念ながら（？）、日本人は他国よりも顕著に「スパイト行動」^(e)をしてしまうという結果が報告されたわけですが、このスパイト行動とは、相手の得を許さない、という振る舞いのことです。

大阪大学社会経済研究所の実験をご紹介します。

実験としては、おたがいにお金を出資して公共財（道路）を造ろうというゲームをしてもらいます。プレイヤー同士がおたがいにどんな

行動をとるかによって自分の損得が決まるというルールで、Ⅲ的な駆け引きが見えてくるようになっていきます。

この実験によれば、日本人は「スパイト行動」、つまり「自分が損してでも他人をおとしめたい」という嫌がらせ行動」が顕著であったということです。日本人は他人が利益を得ようとして自分を出し抜くことを嫌います。いわゆる「フリーライダー」を許さないのです。

タダ乗りするやつを許してはならない、なぜなら許せば社会の損失となるからだ——そうした内的な動機づけが行われて、自分が損をしなくても他人の足を引っ張ろうとするのです。そして、この傾向は世界のほかの国の人々には見られなかったというのです。

なぜ、日本でだけこの現象が見られるのでしょうか。日本人が、人の足を引っ張る行動をとる背景には、何があるのでしょうか。

「出る杭は打たれる」ということわざがありますが、これは非常に日本的な発想であると言えます。海外ではそれに該当することわざがないようです。

一方で、日本人の社会的振る舞いは、たいへんセツドのあるものであり、控えめで美しいと、海外から賞賛されることもしばしばです。親切さ、礼儀正しさ、真面目さ、協調性など、われわれ自身も誇らしく思えるものでもあります。しかし、これらは一見、美しく見えますが、本質的なところはどうか。

もし、これらの性質が、実際はスパイト行動で自分が怖い目に遭わないための同調圧力にキインするものとしたら。
※2 『空気を読む脳』で詳述しましたが、日本特有のこういったフウチョウの成り立ちについては、遺伝的な要素も絡む、一定の生理的な理由が考えられます。セロトニンの動態によってその人の、他者の得に対する態度が左右されるのです。

面白いことに、この実験では、ゲームが進むにつれて、プレイヤーは協力的になっていきました。これは、協力せずに自分が出し抜こうとしたら仕返しされるリスクが高いため、その恐怖が大きくなっていくからであると考えられます。

この結果についても、他国ではこのような傾向が見られませんでした。要するに、日本人は他人が得するのを許せない、そして、意地でも他人の足を引っ張りたいと考えている、ということが図らずも証明されてしまったわけです。
Ⅳ的な姿勢になるのは自分も同じ目に遭うのが怖いからなのだ、ということにあるでしょうか。

ただ、私はこのことをもって、単純に日本人が性悪だとは思いません。美しい国を守るためには、ときにはこういった毒をうまく使いこ

なすことも必要なのでしょう。

いずれにしても、とても興味深い結果です。

『生け贄探し 暴走する脳』中野信子 ヤマザキマリ より 設問の都合上、一部変更がある

※1 誹謗：悪口を言うこと ※2 『空気を読む脳』：問題文には含まれていない前述までの章

※3 セロトニン：人間の精神面に大きな影響を与える神経伝達物質で「リアルアドレナリン」「ドーパミン」と並び体内で特に重要な役割を果たす『三大神経物質』の一つ。

問1 傍線部(a)～(j)の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問2 空欄 I ～ IV にあてはまる適切な語をそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。(同じ記号を二度以上使えない)

ア 一面 イ 協力 ウ 合理 エ 物理 オ 国民 カ 閉鎖 キ 心理 ク 経験

問3 本文には次の一文が抜けています。一文が入る直前の十字を書きなさい。(句読点も字数に含む)

もっと言えば、「自分が損をしてでも他人をおとしめたい」という嫌がらせ行動」とでも言えばよいでしょうか。

問4 傍線部①「協調性の高さと収入のレベルは反比例する」とはどのような意味か、最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 協調性のある人間は仕事が速く正確なので社会でも必要とされ収入もおのずと高くなる。

イ 協調性のある人間は周囲とコミュニケーション能力に長けているので交渉術を駆使し高収入を得られる。

ウ 協調性のある人間は周囲に合わせてばかりいるので利用され収入はおのずと低くなる。

エ 協調性のある人間は優しく配慮ができるので全てを周囲に譲ってしまい高収入を得ることができない。

問5 傍線部②「村八分」と同じ意味の言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア リーダー イ 犯罪者 ウ 笑いのもの エ 仲間外れ オ 傍観者

問6 傍線部③「闇の部分」について。

(1) 「闇の部分」と同じ意味を持つ表現を本文中から四字で探し書き抜きなさい。

(2) 「闇の部分」としてふさわしくないものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 根拠のない悪口を言いふらされたくないのにで礼儀正しく振る舞うこと。

イ 他人から非難されて孤立しないように真面目に行動すること。

ウ 困ったときに助けてもらえるように周囲に協力すること。

エ 周囲の人間の笑顔が見たいので常に気を配り親切にすること。

問7 (1) 傍線部④「損得」と同じ構成の熟語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 希望 イ 巧拙 ウ 否定 エ 航海 オ 私立

(2) i iiiの熟語の構成の説明として適切なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

i 非常 ii 着席 iii 動画

ア 同じような意味の漢字を重ねたもの イ 反対または対応の意味を表す漢字を重ねたもの

ウ 上の字が下の字を修飾しているもの エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの

オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの

問8 傍線部⑤「この傾向」とはどのようなものか、本文より二十五字以内で抜き出し、解答欄に続く形で、答えなさい。

問9 傍線部⑥「日本人の社会的振る舞い」として適切なものを過不足なく全て選び、記号で答えなさい。

ア 控えめで美しい振る舞い イ 親切で礼儀正しい振る舞い ウ 意地でも自分だけが得をしようとする振る舞い

エ みんなが平等に得をする振る舞い オ 積極的にコミュニケーションを図る振る舞い

問10 この文章の内容としてもっとも適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 日本人は心が美しく、心の底から他人に親切にし、礼儀正しい振る舞いをすることができる。

イ 日本人は美しい国民性ゆえに、悪意を持った他者／他国の餌食となり、過労死など労働上の問題が増加している。

ウ 日本人は協調性があるが、それは自分が不利益を被るリスクを少しでも抑えるためである。

エ 日本人は本来、性悪で、何をするにも、他人の足を引っ張りおとしめてやりたいと考えている。

【二】次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

① 今は昔、村上天皇の御代に、玄象といふ琵琶にはかにうせにけり。これは世の伝はりものにて、いみじき公の財にてあるを、かくうせぬれば、^(a)天皇極めて嘆かせ給ひて、かかるやむことなき伝はりものの、我が代にしてうせぬることとおぼし嘆かせ給ふもことわりなり。これは人の盗みたるにやあらむ、^(b)ただし、人盗み取らば、保つべきやうなきことなれば、天皇をよからず思ひ奉る者世にありて、取りて損じ失ひたるなめりとぞ疑はれける。

② しかるあひだ、源博雅といふ人、殿上人にてあり。この人、管弦の道極めたる人にて、この玄象のうせたることを思ひ嘆きけるほどに、人皆静かなる後に、博雅清涼殿にして聞きけるに、南の方に当たりて、かの玄象を弾く音あり。極めてあやしく思へば、もし僻耳かと思ひて、よく聞くに、まさしく玄象の音なり。博雅これを聞き誤るべきことにあらねば、返す返す驚きあやしんで、人にも告げずして、^(c)直衣姿にて、ただ一人沓ばかりを履きて、小舎人童一人を具して、^(d)衛門の陣を出でて、南ざまに行くに、なほ南にこの音あり。近きにこそありけれと思ひて行くに、朱雀門に至りぬ。なほ同じやうに南に聞こゆ。しかれば、朱雀の大路を南に向かひて行く。心に思はく、これは玄象を人の盗みて、^(e)楼観にしてひそかに弾くに、^(f)Xありぬれと思ひて、急ぎ行きて楼観に至り着きて聞くに、なほ南にいと近く聞こゆ。しかれば、なほ南に行くに、既に羅城門に至りぬ。

門の下に立ちて聞くに、門の上の層に、玄象を弾くなりけり。博雅これを聞くに、あさましく思ひて、これは人の弾くにはあらじ、定めて鬼などの弾くこそはあらめと思ふほどに、弾きやみぬ。しばらくありてまた弾く。そのときに博雅の言はく、「こはたが弾き給ふぞ。玄象日ごろうせて、天皇求め尋ねさせ給ふあひだ、今夜清涼殿にして聞くに、南の方にこの音あり。よりて尋ね来れるなり。」と。そのときに弾きやみて、天井より下るるものあり。恐ろしくて立ちのきて見れば、玄象に縄を付けて下ろしたり。しかれば、博雅恐れながらこれを取りて内裏に帰り参りて、この由を奏して、^(g)玄象を奉りたりければ、天皇いみじく感ぜさせ給ひて、「鬼の取りたりけるなり。」となむ仰せられける。これを聞く人、皆博雅をY褒めける。

④ その玄象、今に公の財として、世の伝はりものにて内裏にあり。この玄象は生きたるもののやうにぞある。つたなく弾きて弾きおほせざれば、腹立ちて鳴らぬなり。また塵あての^(h)ごはざるときにも、腹立ちて鳴らぬなり。その気色あらはにぞ見ゆなる。あるときには内裏に焼亡あ⁽ⁱ⁾

るにも、人取り出でずといへども、玄象おのづから出でて庭にあり。
これ奇異のことどもなり、となむ語り伝へたるとや。

『今昔物語』 卷二四 第二四より 設問の都合上、一部変更がある

- ※1 僻耳：聞き間違えること ※2 直衣：貴人の常用の略服
※3 小舎人童：召使いの童子 ※4 衛門の陣：衛門府の官人の控えどころ ※5 焼亡：火事

問1 太線部(a)と(c)を現代仮名遣いに直して答えなさい。

問2 二重傍線部AとCの現代語訳として適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

A「いみじき公の財にてあるを、」

ア ひどく税金を使った宝であるのに、 イ とても世間の人々に知られた宝であるのに、

ウ すばらしい皇室の宝であるのに、 エ すばらしい由来のある宝であるのに、

B「あさましく思ひて、」

ア 魅力的に感じて、 イ 驚きあきれて、 ウ かわいそうに思つて、 エ 見苦しく思つて、

C「玄象を奉りたりければ、」

ア 玄象を差し上げたところ、 イ 玄象をお与えになったところ、

ウ 玄象を演奏したところ、 エ 玄象をきれいに磨き上げたところ、

問3 傍線部①「村上天皇」が発した最初の発話文を本文中から探し、その発話の終わりの五文字を本文中より抜き出さない。

問4 傍線部②「この玄象のうせたること」について。

- (1) 当初、何が原因と考えられていたか、本文中より十字程度で抜き出さない。
(2) 最終的に原因はなにか、単語で抜き出さない。

問5 傍線部③「聞き誤るべきことにあらねば」とあるが、その根拠はなにか、解答欄に続く形で十字以内で抜き出さない。

問6 傍線部④「玄象は生きたるもののやう」とあるが、そのように言える具体的な描写が二つある。(1)は十字以内で、(2)は十五字以内で抜き出さない。
(句読点は含まない)

問7 空欄Xに入る語を本文中よりひらがな二字で抜き出さない。

問8 空欄Yに入る語を本文中よりひらがな二字で抜き出さない。

問9 波線部「羅城門」について調べた生徒たちが説明したものとしてふさわしくないものを次の①と④の中から選び、記号で答えなさい。

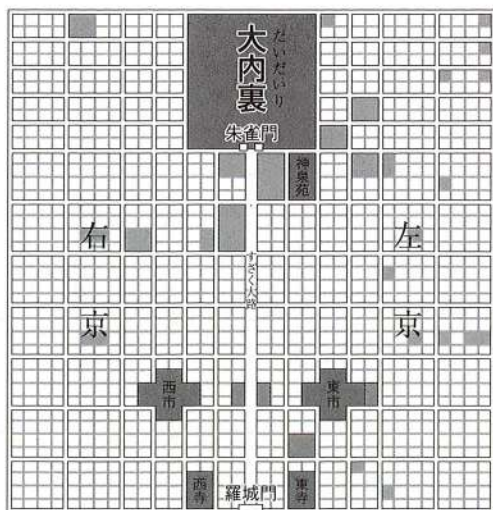
生徒A…① 「羅城門」は大内裏からまっすぐ伸びた南の端に位置する正門だったらしいですよ。元々は城壁のことを表すものだったそうです。

生徒B…② 「羅城門」は楼、つまりは高層階があつて、はしごによつて上がったみたいです。実際、本文中でも上から玄象が下りてきていますしね。

生徒C…③ ただ「羅城門」は「朱雀門」と比べて格の低い門だったそうです。
本文中でも、主人公の源博雅は「朱雀門」を優先して、その後「羅城門」に向かっています。

生徒D…④ 「羅城門」は平城京にもあつたそうだよ。平城京は平安京と同様に基盤の目のような形で作られていたんだって。

参考図



平安京図

【三】 次の①～⑩の文の、傍線部の品詞として適当なものをそれぞれの語群から選び、記号で答えなさい。

(同じ記号を二度以上用いてもかまわない)

- ① 電車に数分の遅れが出ている。 ② 約束の時間に遅れてしまった。
③ あの人はいまこまかなことによく気がつく。 ④ こまかいところまで注意をはらう。
⑤ 美しい夕日が沈んでいく。 ⑥ 赤く輝いているのは夕日ではない。
⑦ いろんなことが起こってもあきらめない。 ⑧ すぐにあきらめてしまうのはよくない。
⑨ 彼はある町に大きな時計台を作った。 ⑩ 私の町には大きな時計台がある。

ア 動詞	イ 形容詞	ウ 形容動詞	エ 名詞	オ 副詞
カ 連体詞	キ 接続詞	ク 助動詞	ケ 助詞	コ 感動詞

【四】 次の①～⑤の「□」にあてはまる漢字をそれぞれの語群からさがし、三字熟語を完成させなさい。

- ① 有□天 ② 立□生 ③ 向□心 ④ 一□倒 ⑤ 不□出

上・下・世・辺・頂・地・往・来

【五】 次の①～⑤の「□」に共通してあてはまる漢字をそれぞれの語群から選び、記号で答えなさい。

- ① 解□・□放・□然 ② 奇□・選□・□群 ③ □重・□台・集□
④ □感・□速・鋭□ ⑤ □信・□路・□子

ア 敏	イ 決	ウ 道	エ 迷	オ 釈
カ 出	キ 荷	ク 抜	ケ 合	コ 快

受験番号	
氏 名	
得 点	

[illegible][illegible]

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩

【四】	①
	②
	③
	④
	⑤

【五】
①
②
③
④
⑤